



コアラだより

春の訪れが待ち遠しい季節ですね。子どもたちは、進学・進級に期待と不安でワクワクドキドキのことと思います。子どもの環境の変化は、親御さんにとっての期待と不安でもあるのではないのでしょうか。

新しく習い事を始めたので送迎をしてほしい・学童のお迎えをしてほしい・保護者会の時に預かってほしい・美容院に行きたいので預かってほしい・・・。ファミリー・サポート・センターには、この時期たくさんの依頼が寄せられます。会員さんとお子さんが安心して活動の時間を過ごせるようにと願いながら、事務局も調整を行っています。

今回のコアラだよりでは、サポート会員養成講習会の特集をしました。興味のある方、聞いてみたいことがある方、ぜひお問い合わせください。お待ちしております！

平成24年度活動件数 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)



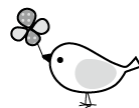
計 4170 件

依頼件数の多い活動ベスト 3

- | | |
|-----------------------|--------|
| ① 保育園・幼稚園の送迎 及び預かり | 1258 件 |
| ② 学童のお迎え・預かり | 766 件 |
| ③ 習い事の送迎 | 424 件 |

会員数 (平成24年12月31日現在)

ファミリー会員 1891 名
サポート会員 231 名



計 2122 名

活動報告書より



雪が残っていたので、滑らないように2人で「おいしょ、おいしょ。」と歩きました。寒かったですがよく歩きました。



〇〇ちゃんと言をかけると、笑顔で走ってきてくれるかわいい〇〇ちゃんです。おんぶの帰り道も、「フーフ・おそろ・はっば」とおしゃべりしてご機嫌です。



朝食をゆっくり、しっかり食べました。いろいろ話をしたり、歌も歌いました。歯を磨き、身支度をして幼稚園へ出発しました。



家の前の公園でタンポポの綿毛やねこじゃらし、葉に小石を載せたりして遊びました。家に戻り、おやつのはかくれんぼが楽しそうでした。終始ニコニコご機嫌に過ごしていました。ママと別れるときに大泣きしたのが嘘のようでした。

サポート会員養成講習会って??

保育士や保健師を講師に招き、これから活動するにあたっての心構えや安全についてのなどの講座を行っています。オリエンテーションなど含め、約16時間の講習会です。(講座内容等は、平成24年度時点のものです)

子どもの心の発達と関わり



心の発達と、それぞれの成長段階に合わせた関わりについて学びます。講座の中で行うグループディスカッションでは、意見を出し合う中で、人それぞれの考えや感じ方があるということに気づかされます。

子どもを預かる心構え



現在の子育て事情について触れ、どんなサポートが求められているかを知ります。援助者(サポート会員)として、預ける人の気持ち・サポートする子どもの気持ちに、そっと寄り添うことの大切さを学び、考えます。

西東京市子育てハンドブックなどを用いて、市内の子育て支援の状況について学びます。地域に住んでいても、意外と知らない施設やサービスは多いもの。地域の子育て支援を身近に感じる講座です。



西東京市の子育て支援

絵本の紹介・折り紙遊びなどの実践を行います。自分の子ども時代や子育ての時の思い出しながら、楽しさを再発見するかもしれません!



子どもの遊び

子どもの事故の防ぎ方などの講義を通して、子どもを預かる責任について改めて考える講座です。赤ちゃんの人形を使って、赤ちゃんのケアの体験もします。



子どもを安全に預かるために

報告記

会員交流会 <<ヨガ体験教室>> 講師：佐野 美野里 氏

平成24年11月 開催



心を落ち着けて、自分の身体に向き合いながら1時間のヨガ体験。リラックスした後は、地域に分かれて自己紹介などを行いました。「まだ利用したことは無いのですが・・・」というファミリー会員さんに、「1時間でもいいのよ。安心して利用してみてね」とサポート会員さんが声をかける姿もありました。

サポート会員ステップアップ講習会 <<障がいのある子どもの理解と接し方>> 講師：大泉特別支援学校 川崎 彩佳 氏

平成25年1月 開催

講義なかで、冷静に・肯定的に子どもと関わることの大切さについて触れ、子どものいいところを見つけて関わることで、互いにいい関係が築いていかれるとのお話がありました。障がいの有無にかかわらず、大切にしたいことですね。

参加したサポート会員同士、お互いの活動の様子などについて聞いたことも役に立ったようでした。ご参加ありがとうございました。

こんな思いで

講座を受講しました！

- ・自分の子育て中は、頼る人が近くにおらず大変でした。これからは同じ思いで子育てしている方のサポートをしたいと思いました。
- ・子育てがひと段落し、時間のゆとりができたので。
- ・今まで仕事中心の生活だったので、これから地域とつながりを持ちたいと思いました。
- ・ファミリー会員としてお世話になったので、サポート会員として恩返ししたいと思いました。



受講生の講座の感想

- ・お子さんをお預かりするということは、短時間であれ簡単なことではないと、身の引き締まる思いがしました。
- ・赤ちゃんの人形を抱っこしたり、おむつ替えなど懐かしく楽しかった反面、親御さんが安心して預けられるように頑張らなければと思いました。
- ・自分の子育てにも活かせるお話が多く、ためになりました。
- ・講座を受ける前は、大変だと思いましたが、どの講座も大切な内容で、あっという間の一週間でした。



サポート会員に登録しませんか？



ファミリー・サポート・センターでは、サポート会員になるための養成講習会を年2回開催しています。現在ファミリー会員に登録している方でも、活動が可能であれば講座を受講してサポート会員としての登録ができます。

平成25年度は6月と10月に開催予定です。詳しい日程については開催前月の市報に掲載します。市内掲示板や、公民館などにもポスターを掲示いたしますので、ぜひご覧ください。

皆さんの周りに、ファミリー・サポート・センターの活動に興味がある方がいらっしゃいましたら、お声掛けください。

事務局からのお願い

より良い活動となるよう、事務局からいくつかのお願いがあります。今一度、活動を振り返り、お気を付けいただければと思います。

① 依頼やキャンセルの連絡について

事務局への依頼やキャンセルの連絡を、あとで・・・と思っていると、つい忘れてしまうこともあると思います。サポート会員への連絡がすんだら、事務局へも速やかにご連絡ください。

最近ではお互いの了承のもとメールアドレスを交換している方もいらっしゃいます。メールも電話も、お互いの負担にならないような連絡の仕方や時間帯を確認し合って活用してくださいね。



② 活動中の注意事項について



サポート会員の活動は安全にお子さんを預かることです。活動中に食事作り等の家事や、ペットの散歩はできません。活動場所が、ファミリー会員宅でもサポート会員宅でも同様です。活動中は保育に専念できるよう、お互いに気を付けましょう。

③ 長時間の預かりについて

ファミリー・サポート・センターの活動は、1対1でお子さんを預かります。サポート会員の集中力や負担を考慮し、事務局では、1回の活動は長くて5時間程度が適当と考えています。

また、1歳未満のお子さんに関しては、月齢に応じて対応できる時間数が異なります。詳しくはご相談ください。



～ファミリー・サポート・センターの HPをご活用ください



ホームページから、必要書類がプリントアウトできます。
今後、会員のしおり等も順次掲載いたしますので、ご活用ください。

西東京市社会福祉協議会ホームページよりご覧いただけます。
<http://www.n-csw.or.jp>

変更届けの提出について

登録内容に変更はありますか？

変更がある方は、変更届を提出してください。

- ・新しくお子さんが誕生した
- ・お子さんが入園・入学した
- ・携帯電話が変わった など

◎西東京市内での転居の場合は、新しい会員証を送付しますので、80円切手を同封のうえ、変更届けを提出してください。

活動報告書の提出について～サポート会員さんへ～

活動報告書の提出方法は下記の通りです。よろしくお願いいたします。

- ① 事務局へ、活動翌月5日までに提出する
- ② 田無総合福祉センター内ボランティア・市民活動センターへ、活動翌月2日までに提出する
- ③ 事務局へ、郵送する

なお、新しい活動報告書を受け取れる場所は、事務局、ボランティア・市民活動センター、ピッコロ広場、田無庁舎子育て支援課窓口です。



事務局開所時間外に緊急事態が起こった場合



事務局の開所時間外の活動で、大きなケガ・事故などが起こったとき下記の連絡先にご連絡ください。

【西東京市役所夜間受付(守衛室)】 042-464-1311 平日：午後6：30～午前8：30 / 土日祝日：終日
ここから社会福祉協議会事務局長・地域福祉課長・アドバイザーの順に連絡が入っています。

【伝える内容】

- ①「社会福祉協議会のファミリー・サポート・センター事業です。緊急連絡をお願いします。」
- ②サポート会員の氏名・電話番号（伝え忘れ注意）
- ③緊急に連絡を取りたい内容

*いざという時はあわてず、お子さんの安全を確保してください。迅速にファミリー会員に連絡を取り、ファミリー会員の帰宅までお子さんの状態を見守るか、救急車対応とするか指示を仰ぎましょう。
いざという時のためにも、お互いの緊急連絡先はかならず控えて活動に入ることが大切です。

センター事務局より

いつもファミリー・サポート・センターの活動にご協力いただき感謝しております。

最近、サポート会員養成講習会に、若い世代の受講も見受けられるようになりました。ファミリー会員だった方がサポート会員になって、地域を支えていく。そうして循環していく地域になれば、素敵ですね。

渡辺・齋藤・武山

社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会
西東京市ファミリー・サポート・センター事務局
〒202-0013 東京都西東京市中町1-6-8 保谷東分庁舎内
Tel 042(438)4121 Fax 042(438)3772

